



令和 2 年 9 月 11 日
第二管区海上保安本部

レーザー
優れた視力で海を拓く「あおばずく」
～ 海上保安庁「初」の測量機の愛称が決定！ ～

令和 2 年 6 月 8 日から 7 月 8 日までの間、仙台航空基地に海上保安庁で初めて導入される海洋調査を主任務とする航空機（通称：測量機、ビーチ 3 5 0）*1 の愛称募集を行いました。北は北海道、南は沖縄県、5 歳から 90 歳までの多くの方から、合計 1,394 の応募が寄せられ、厳正な選考の結果、「あおばずく」に愛称が決定いたしました。

測量機が海洋調査を主任務とすることを踏まえ、水路記念日（9 月 12 日）*2 にあたり今回決定した測量機の愛称を公表いたします。

「あおばずく」の選考理由として、

- ① 「あおば」のフレーズが、宮城県のシンボリックな存在である青葉城を想起させ地域に親しみやすいこと
- ② 「あおばずく」は、渡り鳥として珍しいフクロウで、狩りをする時は人間の 100 倍とも言われる優れた視力や聴力を駆使し獲物の位置をレーダーのように捕捉する点が、測量機による海洋調査（レーザー測量）をイメージできることが他と比較し測量機の愛称として相応しいことから、決定されました。

今回、「あおばずく」と応募して頂いた 14 名の方に記念品等を後日贈呈いたします。なお、「あおばずく」は、今年度中に就役予定で、就役日が決定しましたら別途お知らせします。

※1 測量機 航空レーザー測深機という機器を使用し、水深を測る航空機。水深が浅い海域を広範囲にわたり効率的に測深が可能となります。（別紙参照）

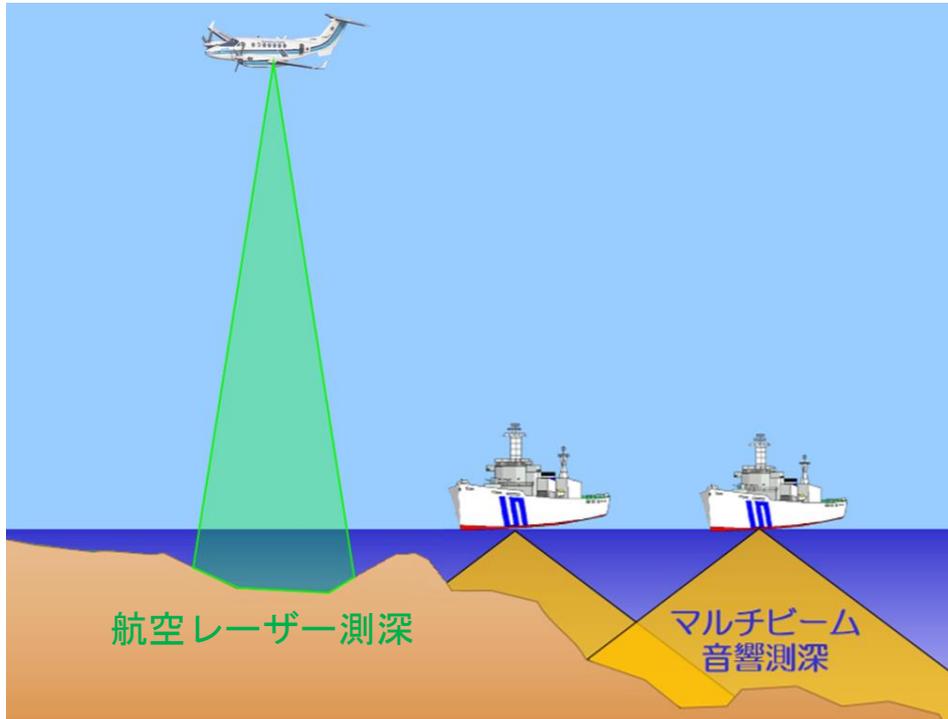
※2 水路記念日 明治 4 年（西暦 1871 年）9 月 12 日（旧暦 7 月 28 日）に兵部省海軍部に水路局（現在の海上保安庁海洋情報部）が置かれたことを記念する日。この水路局設置により我が国の本格的な海図作製が始まりました。



●測量機による調査

測量機に搭載した航空レーザー測深機からレーザー光を発射し、その往復時間を計測することによって、海底地形を面的に連続測定する調査です。測量船で調査することができない水深が浅い海域を、安全に効率良く調査することができます。東日本大震災における被害状況の把握にも活用されました。

航空レーザー測深機による調査（イメージ）



航空レーザー測深機による震災後の名取川河口付近の海底地形

